

会長挨拶

会長 平松 博

第31回日本温泉科学会大会を私がお引受け致しまして、約1年6ヶ月鋭意準備を進めてまいりましたが、本日ここに岐阜県上宝村新平湯温泉において全国各地からの関係学者、研究者多数の御参加を得て盛大に開会の運びとなりましたことは私のこの上ない喜びであります。

当新平湯温泉は焼岳を中心とした海拔1000～1500米の高地に散在する温泉群の中の一つであり、偶々本年5月には会場に好適な温泉会館も完成し、上宝村当局も本大会に絶大な御協賛を賜り、さらに富山県、岐阜県の御援助、特に富山医科薬科大学の医学部、薬学部和漢薬研究所等大学を挙げての御支援によって今日を迎えることができました。

当地は乗鞍岳、立山連峰を含む北アルプス中部山岳国立公園の中にあつて冬はスキー客で賑わいますが、夏は清涼、秋は紅葉と避暑、登山、観光地として知られており、地質学的にも我国最古の地層として地質学者の興味を集めている地層の露出が見られる等、会員の方々がお暇を見て附近の探勝を試みられるのもよろしかろうと存じます。

昨日は午後恒例の公開講演会が開催され、環境庁の温泉担当官および富山医科薬科大学和漢薬研究所長からそれぞれ有益な啓発的講演が行われ、聴衆に多大の感銘を与えました。

全国各地からはるばる遠くおいでの皆様には2日間の会期中を有意義にお過ごし下され、本大会開催に御協力下さいますよう御願申し上げます。